



22年ぶりの黒字となった
京都市の令和4年度

決算を徹底審議!

9月市会 決算特別委員会総括質疑

10月19日(木) 20日(金)



令和4年度決算は、21年ぶりに将来の借金返済のための基金を取り崩すなどの赤字の補填を回避し、22年ぶりの黒字となりました。
9月市会の総括質疑では、行財政改革の取組や市民の安心安全などについて徹底的に審査・検証しました。

議論の様子をぜひ動画で
ご覧ください!



10月19日(木)



10月20日(金)



決算特別委員会総括質疑とは?

決算特別委員会は、決算を審査するために設置しています。局別質疑では事業を担当する局ごとに詳細な質疑を行い、その総仕上げとして、総括質疑では市長や副市長らと一問一答で質疑を行いました。

総括質疑

局別質疑

第1分科会
行財政、環境、
保健福祉など

第2分科会
文化、教育、
都市計画など

第3分科会
産業観光、
交通、水道など



みちはた 弘之

決算特別委員長 伏見区 (自民)

全議員67名で構成する決算特別委員会の総括質疑では、次の40名が令和4年度決算について市長等と活発な議論を行いました。その一部をご紹介します。

決算特別委員会 総括質疑

10月19日(木)

※質疑順に掲載しています。
※各委員の最初の質疑の概要に掲載しています。



寺田 一博

上京区 (自民)

市長の役割は国との連携が非常に重要だと思うが、それを踏まえた令和4年度決算の見解を。



大津 裕太

中京区 (維新)

過去負債は公債償還基金の取崩しのほかにも様々あると思うが、市長はどう捉えているのか。



西野 さち子

伏見区 (共産)

コロナ禍という大惨事につけこんで、負担増を行った。53億円の市民負担増は撤回すべき。



吉田 孝雄

伏見区 (公明)

黒字決算の大きな要因は市民の理解・協力・努力。今後一層の支持を深めていくことが大事。



しまもと 京司

決算特別委員会副委員長

南区 (自民)

高さ制限の緩和やオフィスラボ誘導が始まる南区のまちづくりについて、市のコンセプトは。



もりもと 英靖

伏見区 (維新)

救急需要が増加する中、現場のパフォーマンス維持のためにやっている労務管理を問う。



とがし 豊

左京区 (共産)

気候危機打開のため、温室効果ガス削減目標を引き上げ、追加対策を計画に盛り込むべき。



くまざわ 真昭

左京区 (公明)

保育士不足のなか、新たな取組として、視野を広げた人材確保の取組を行っていくべき。



森田 守

右京区 (自民)

観光課題対策として、市バス・地下鉄でのクレジットカードのタッチ決済を導入すべき。



神谷 修平

下京区 (維新)

運転士不足による路線バスの廃止や減便が都市部でも広がる中、市バス運転士の採用状況は。
※2日目も質疑



くらた 共子

上京区 (共産)

市民と合意形成してきた新景観政策を変更し、都市計画の見直しを行った市長の責任は重大。



さくらい 泰広

左京区 (自民)

決算における税収の劇的な改善は、国の積極財政の効果が大きな要因だと思うが、認識は。



中高 しゅうじ

上京区 (維新)

歴史ある公募展「京展」が休止し、市民に何の説明もなく7年が経過したが、現状認識は。



裏面に続きます



兵藤 しんいち

北区 (公明)

若い世代に選ばれる千年都市となるため、スタートアップ支援の更なる充実に取り組みたい。



田中 たかのり

右京区 (自民)

行財政改革計画とこれまでの様々な改革はどのような違いがあるのかと現状の確認を伺う。



山田 こうじ

右京区 (共産)

物価高騰倒産は前年度比2.7倍。観光振興より、物価高騰から既存事業者支援が必要。



朝倉 亮

中京区 (維京国)

相談員が増員された経過も踏まえて生活困窮者の自立支援事業に対する思いと見解を伺う。



宇佐美 賢一

左京区 (維京国)

障害者福祉行政のあるべき姿、本市の監査、指導の在り方について、現在の状況を確認する。



平田 圭

伏見区 (立憲)

ゼロゼロ融資の返済の本格化、物価高騰、人手不足の中で本市事業者をどう下支えするのか。



きくち 一秀

右京区 (民主)

各学区の自治連合会や地域コミュニティとの連携をどうしていきたいと考えているのか。

決算特別委員会 総括質疑

10月20日(金)

※質疑順に掲載しています。
※各委員の最初の質疑の概要に掲載しています。



棕田 隆知

南区 (自民)

利用の多い公園のトイレは改修を急ぐべき。それが市民生活の豊かさ都市格の向上に繋がる。



おんづか 功

左京区 (維京国)

市長が自分の思いを早くから市民へ発信していれば、財政の捉えられ方もまた違ったはずだ。



やまね 智史

伏見区 (共産)

市立芸大新キャンパス屋上で球技ができないと今年度に入ってから通達したのは事実か。



かわしま 優子

伏見区 (公明)

市バスの運転士不足解消には、職場環境の改善や新しい技術の導入などの改革が必要。



下村 あきら

下京区 (自民)

京都駅周辺エリアの中でも活性化が特に先行している西部エリアの現状と評価を伺う。



北川 みき

西京区 (維京国)

特性のある子どもに係る福祉事業所と学校との連携が、進んでいないことをどう考えるか。



山本 陽子

山科区 (共産)

保育士の昇給財源の経験年数の上限制限を廃止し、再構築前のように給与保障を約束すべき。



中村 まり

南区 (公明)

災害時に外国人観光客を含めた帰宅困難者が、災害情報を入手しやすい環境整備が必要。



井上 よしひろ

右京区 (自民)

観光課題対策として、京都の魅力発見につながる朝夜観光の可能性をさらに追求すべき。



江村 理紗

右京区 (維京国)

市長にとって、住民の満足度を上げ、魅力を感じられる今後の教育改革の在り方とは何か。



玉本 なるみ

北区 (共産)

地域で唯一の京北病院は京北地域に必要な不可欠。在り方の検討には医師や看護師が必要。



山本 しゅうじ

山科区 (自民)

琵琶湖疏水船の運航を、山科の活性化や魅力発掘、観光振興にどう結び付けていくのか伺う。



中野 洋一

東山区 (維京国)

市長の残り任期の中、公共施設の統合・廃合、民間委託について、どう道筋を付けるのか。



西山 信昌

決算特別委員会副委員長

下京区 (公明)

市立芸大の移転を終え、京都市の未来を切り拓く取組がいよいよ始まるが、市長の思いは。



橋村 芳和

伏見区 (自民)

市長公約に財政再建を掲げ、22年ぶりの黒字決算を成し遂げた結果についての所感を。



北山 ただお

山科区 (共産)

大変な物価高騰の中、市バス運賃値上げのような生活困難を市民に押し付けるべきではない。



菅谷 浩平

決算特別委員会副委員長

北区 (維京国)

市長公約のリニア誘致の取組は現状では非常に厳しい状況だが、この公約は未達成のままか。



片桐 直哉

北区 (立憲)

市長は現在の取組を続けることで、今よりも美しい都市景観が形成されると考えるのか。



天方 ひろゆき

西京区 (民主)

市バス・地下鉄事業経営ビジョンはどのような視点をもって令和4年3月に改訂されたのか。



井崎 敦子

左京区 (無所属)

新たなまちづくりを行う地域では、踏み込んだ環境配慮型建設の推進を図るべき。

自民=自由民主党京都市議会議員団、維京国=維新・京都・国民市議会議員団、共産=日本共産党京都市議会議員団
公明=公明党京都市議会議員団、立憲=立憲民主党京都市議会議員団、民主=民主・市民フォーラム京都市議会議員団

11月市会の開催予定

11月27日(月)～12月12日(火)

本会議代表質問

12月1日(金)

KBS 京都テレビでも生中継

議員が各会派を代表して、市政の各般にわたって、市長に質問・提言を行います。

インターネット 議会中継

こちらからご視聴できます。ぜひ、ご覧ください!



本会議や委員会の生中継と録画の映像をインターネット配信しています。

9月市会前半の審議結果(令和5年度補正予算の議論など)は、市会だより第132号(令和5年11月15日発行)で!



市会だよりは、市民しんぶん(区版)に挟み込んで配布しているほか、区役所や公共施設内、市会ホームページでも読むことができます。

お問い合わせ

市会事務局調査課

TEL 075(222)3697 FAX 075(222)3713

発行 京都市会 〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

編集 京都市会事務局

京都市印刷物 第054667号

詳しい市会の日程は、市会ホームページからご覧いただけます。(※日程は変更になる場合があります。)



京都市会ホームページ <https://www2.city.kyoto.lg.jp/shikai/>

京都市会